

工学部総合研究棟記念式典

2月2日(水)、工学部総

合研究棟の完成を記念して、竣工記念式典が行われました。式典は、学内外から約50人の出席のもとに行われ、大

平工学部長の式辞の後、一井学長が「地域との共同プロジェクトの活動拠点、また優れた人材育成の場として活用されることが期待される」と挨拶がありました。

引き続き、工学部長から建設に携わった企業に対する感謝状の贈呈、環境部長から施設概要説明がありました。その後場所を総合研究棟の外に移し、関係者によるテープカットが行われました。総合研究棟は、9階建て、延べ床面積約4600m²で、2009年10月に着工し、今年の1月28日に完成しました。棟内には、実験室、ゼミ室の他、海外の研究者のための研究スペース、多目的に活用できるメデイアルーム、室内の埃を非常によらないクリーンルームなどを備えています。



第18回芦原科学賞贈呈式



かがわ産業支援財団から、香川県内産業の技術向上や振興に功績のあった個人、団体をたたえる「第18回芦原科学賞」の各賞の発表があり、3月1日(火)、贈呈式が行われ、工学部山中稔准教授、長谷川修一教授ら5人が参加した産学連携の小型簡易地盤支持力試験機研究開発グループが芦原科学功労賞を受賞しました。

山中准教授らが開発した小型簡易支持力試験機(商品名:エレフット)は、従来の大型機械を使⽤し長時間かかっていたものを、1人で携帯できるまで小型化するとともに、簡単な操作でかつ短時間での測定を可能とするものです。これにより、従来の平板載荷試験法に比べて、低コスト、短時間で数多くの測定値を得られることから、測定精度を向上させることができ、また、小型化によって従来測定できなかった狭隘な現場においても地盤調査が可能になります。

業生は計1209名です。卒業式に引き続いだ。大学院修了式が第一体育館にて行われ、計271名が学舎を後にし、それぞれの進路に旅立ちました。



3月24日(木)、平成22年度卒業式及び修了式が

午前10時から講堂にて行われました。学部の卒業式及び修了式が

平成22年度卒業式・修了式

- 東日本大震災 -

香川大学の学生、教職員一同は、東日本大震災の被災地の復興に役立つてもらおうと学内、学外において募金活動を行っています。また、3月18日には岡山大学を通じて中四国の国立大学が支援物資を被災地へ送りました。一日も早い復興を祈っています。

*車2台で岡山大学へ向かう職員

